

# お手入れの方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

## 本体外側

ぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。  
※つけ洗いはしない。

## 本体内側(内びん)・コップ

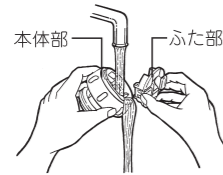
柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。

## パッキン

パッキンを中せんセットから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。その後「パッキンの取り付け方」を参考にして、せんに確実に取り付ける。(パッキン表面にゴミなど付着していると、水もれの原因)

## 中せんセット

中せんセットはふた部と本体部に分解できます。「中せんセットの分解及びセット」をごらんください。



本体部からふた部をはずし、汚れたところをぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。  
※つけ洗いはしない。

## 底カバー

底カバーを本体から取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、十分に乾燥させてから「底カバーの取り付け方」を参考にして取り付ける。  
※つけ洗いはしない。

# パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、中せんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取り付ける。

### 「中せんセットの分解及びセット」

**分解**

- ①中せんレバーをあける。
- ②脱着スイッチを矢印の方向に動かし、ひき上げてふた部をはずす。

**セット**

ふた部を本体部の注ぎ口の方向に合わせてカチッと音がするまで押し込む。

### 中せんパッキンの取り付け方

注ぎ口の中せんレバーをあけ、バルブが下がったことを確認し中せんの樹脂部に装着する。

押す(あける)

中せんレバー  
バルブ  
中せんパッキン

(断面図)  
上  
下

※正しく取り付けないと、飲みものがもれる原因となります。

# 赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
  - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
  - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、およびお茶や糖分を含んだものなど、水以外のものを入れてご使用になった場合には、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
  - 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

# 修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■飲みものがもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	中せんセットがしっかりとしまっていますか。	しっかりとめなおしてください。
	中せんパッキンが汚れていませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	飲みものを入れすぎではありませんか。	少量の飲みものを減らしてください。
	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、中せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温保冷が効かない	十分に温かい(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に温かい(冷たい)飲みものを正しい量まで入れてください。
	飲みものの量が少なくないですか。	氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※中せんパッキン・中せんセットは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

# アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

# 消耗部品のご購入について

製品型名・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ……トップページの交換用部品販売からお求めください。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
ASK型 コップ
ASK型 中せんセット (ふた部・本体部・中せんパッキン)
ASK型 中せんパッキン
ASK型 下げひもセット (フック・おくり・ベルト)
ASK型 底カバー

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

## お客様相談窓口

0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00  
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ  
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

**ピーコック魔法瓶工業株式会社**

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

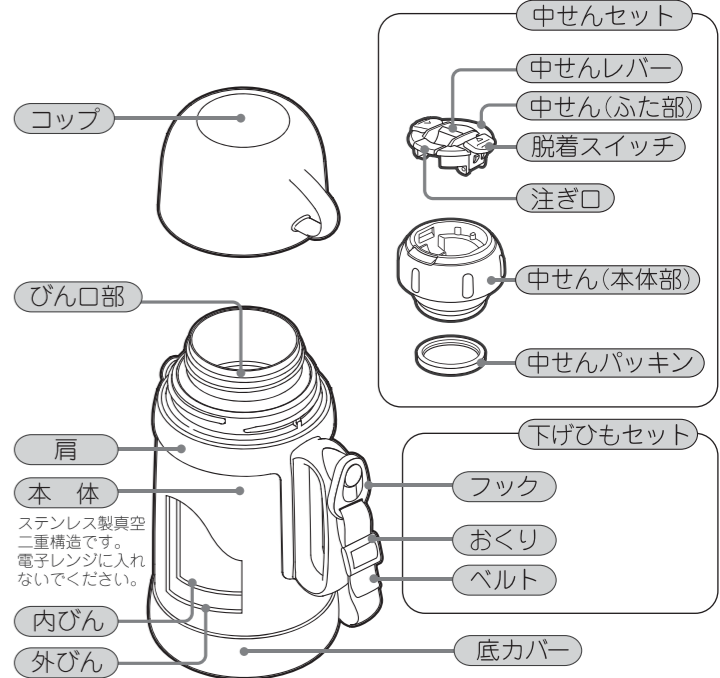
# Peacock

## ステンレスボトル コップタイプ

# ASK

**取扱説明書** このたびは、ピーコックステンレスボトルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 各部のなまえ




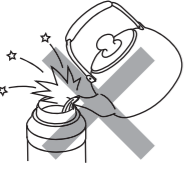

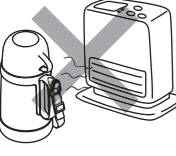


説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。①

# 安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

## 飲みものの保温・保冷以外に使用しない

<p>乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。</p>  <p>やけど・けがなど危険。</p>	<p>熱いやかんをびん口部に触れさせない。</p>  <p>転倒しやけどなどのおそれ。傷・変質の原因。</p>	<p>熱い飲みものを入れた場合は、直接飲まないで必ずコップを使用する。</p>  <p>やけどのおそれ。</p>
<p>ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。</p>  <p>変形・変色の原因。</p>	<p>倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。</p>  <p>破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・飲みものがもれる原因。</p>	<p>製品の横置きは避ける。</p>  <p>もれるおそれ。</p>

## 絶対に入れない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**  
本体内の圧力が上がり、中せんセットがあかなかつたり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの**  
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**  
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものが吹き出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。



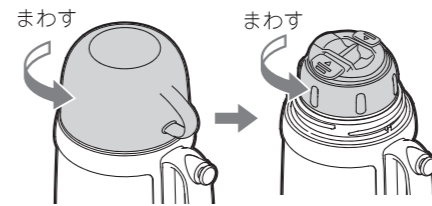
- **飲みものを入れた場合は、使用后、すぐにお手入れをする。**  
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内部をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。
- **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。**  
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。
- **中せんのレバー方向での注湯(注水)はしない。**  
お湯が飛び散り、やけどや他のものを汚す原因。
- **大きな水を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。
- **コップ・中せんセットは確実にしめて使用する。**  
確実にしめないと、もれるおそれ。
- **中せんパッキンは必ずつけた状態で使用する。**  
もれ・車内や衣服を汚す原因。
- **コップ・中せんセットを持って運ばない。** 落としてケガや破損の原因。
- **底カバーを持って逆さにしない。**
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**  
万一のもれを防ぐため必ず縦に置く。
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。
- **自動車運転中は使用しない。**  
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。
- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。
- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。
- **ベルトを持って振りまわさない。**
- **ベルトを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っ掛けたり、乱暴な取り扱いには絶対しない。** 故障や事故の原因。
- **傾けた状態や顔の近くで中せんレバーをあげない。**  
熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

# ご使用方法

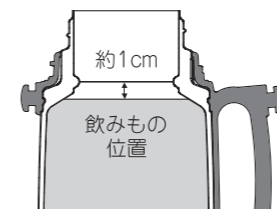
ご使用前にコップ・中せんセット・内びんを洗ってからご使用ください。

## 1 コップ、中せんセットをはずす

本体からコップ、中せんセットを矢印の方向にまわしてはずす。



## 2 熱い(冷たい)飲みものを入れる

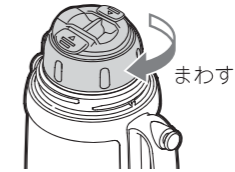


※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。  
※飲みものの量は図の位置までにする。

飲みものを入れすぎて中せんセットをしめると、飲みものが吹き出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、少量の飲みものを捨ててから、元どおり中せんセットをしめてください。

## 3 中せんセットをしめる

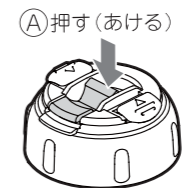
- ①中せんセットは矢印の方向にまわして最後まで確実にしめる。
- ②中せんセットをしめた後は、必ずレバーが下がっているかを確認する。



## 4 飲みものを注ぐ

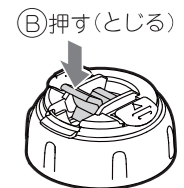
- ①中せんレバー(A)部を指で押し下げる。
- ②製品本体を持って注ぎ口方向へ傾けて注ぐ。

※傾けたまま、中せんレバーを絶対に押し下げないでください。飲みものがあふれ出る場合があります。  
※中せんレバーの操作が堅くて押せないときは、無理やり下げないで一度せんをゆるめて、レバーを指で押し下げ、そのまましめなおしてください。



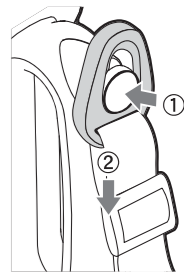
## 5 注ぎ終わったら

- ①必ず製品を立てた状態で2~3秒してから中せんレバー(B)部を指で押し下げる。  
※注ぎ口周辺や中せん内部に、飲みものがわずかに残留する場合があります。特に製品を横置きにした場合にこぼれることがあります。
- ②コップは最後までゆっくり確実にしめる。



## ベルトの着脱方法

- ①フックの穴を本体の突起部にはめ込む。
  - ②「カチッ」と音がするまで下方向に引っ張る。
- ※取りはずしは、つけるときの逆手順でおこなってください。



## 底カバーの取りつけ方

- 底カバーをびん底に合わせしっかりと取りつける。
- ※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因となります。

